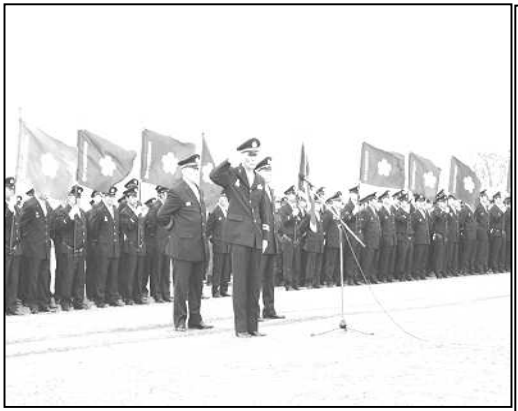


江戸川区内消防団合同点検



した。当日は朝方より風と雨の降る肌寒い陽気でしたが、団員たちは土気旺盛に日頃の訓練成果発揮し、多くの来賓の方に拍手を頂きました。また、多田区長からも昼夜にわたる活動に対し、労いの言葉を頂きました。

平成二十一年十月二十五日(日)平井七丁目荒川河川敷において江戸川区内消防団合同点検が行なわれました。当日は区内より七〇〇名の団員と可搬ポンプ積載車四十四台が集まり、通常検閲と可搬ポンプ積載車による部隊検閲を受けま



団本部指揮車

緊急車運行開始

昨年六月に運行を開始した団本部広報車が本年一月十六日より緊急自動車として運行を始めました。また、これまでの資機材に加え、スタンドパイプとホースを積載して消火栓からの直接放水も可能となり更に活動の場を広げております。春の火災予防運動期間中は管内全域で広報活動を実施いたしました。

ホームページをリニューアル!
ぜひご覧ください。アドレスは一面に



震災訓練

平成二十一年十月十七日、東京湾を震源とした想定で、震災訓練が東京消防庁全域で行われました。江戸川消防団では、午前七時半に団本部から各分団長へ団員の格納庫参集訓練の指示の連絡がはいりました。午前八時から団本部を中心に江戸川消防署と連携して中川土手に於いて、各分団は徒歩や自転車で参集し、無線による連絡訓練や各分団はホースを二十本を中継し、遠距離送水訓練などを行いました。

管内火災発生多発

今年に入り江戸川消防団管内では火災が多発しており焼死者も出ております。一月十四日十九時五十分頃大杉二丁目住宅火災があり第四分団が小松川一小隊の筒先を活用した消火活動を行いました。焼損面積は十五平方メートルでしたが、残念なことに一名の尊い命が奪われる結果となりました。



また、一月五日午後六時頃江戸川四丁目の区立瑞江中学校美術室より出火。約八十平方メートルを焼きましたが下校時間を過ぎていたため幸い中学生の怪我人は出ませんでした。第八分団が消防署と連携して校庭より放水し延焼拡大防止に務め最小限の焼損で済みました。このほか第六、第七分団も応援に駆け

つけ、夜間の消火活動に投光器等活用して署、団一体になつて消火活動を行いました。尚、管内では本年に入り三月十日現在火災件数十五件、焼失面積二六六平米、死者一名、負傷者四名が出ております。

これからも安心、安全な町を目指して消防団活動を行いますので火の元には十分ご注意ください。火災防止にご協力をよろしくお願いいたします。

中級幹部研修を受講して

特別区消防団では、九月二十六日、二十七日の二日間、中級幹部研修を行いました。二十三区内五十八団五十九名の団員が参加し、江戸川消防団からは、第一分団の福富副分団長が参加し東京消防庁消防学校で行われました。中級幹部研修では、消防活動訓練、消防団の現状を踏まえた育成方策のレポートの発表、礼式訓練、消防団の装備資機材の適正管理及び有効活用についての指揮訓練、オリエンテーション等の各種訓練に参加しました。一日泊二日という泊りがけの研修でしたが、各消防団との交流が持て有意義な研修でした。

分団紹介 第五分団



八武崎 団長

第五分団は春江町一・二・三丁目、新堀一・二丁目、谷河内一・二丁目、瑞江一丁目等の地域を担当しております。団員数は五十一名で、構成されており、年齢別では二十代十一名、三十代十四名、四十代二十名、五十代六名となっております。

若い団員には日頃から消防団員としての機材整備、消防操法訓練、水防訓練等を多数経験してほしいと思っております。また、第五分団としては消防操法の選手経験率八十%以上を目指して頑張りたいと思っております。訓練をすることにより団員としての自信と自覚が出来るのも事実です。今後も、各世代でプライベート的な交流を取りながら消防団員の和を持って消防団活動をさせて頂きます。

編集後記

広報委員会では皆さんに読みやすい広報紙を考えながら発行しております。今回の五号より文字を多少大きくし今までより読みやすく編集いたしました。今後ともご愛読いただき、ご意見等ございましたら、是非お寄せいただきたいと思います。